主管課名(担当名)			保健課(健康推進担当)						
	事務事業名		広域救急医療確保対策事業			事業番号	12070		
	重点プロジェクト	口該当	■非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託		

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1 消防・救急体制の充実
ル東や木との民建	施策目標	市民と行政が一体となった、消防・救急体制が確立したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など	市民			
A1 35.	対象者の今後の予想	増加すると思われる			
活動内容	釧根管内の全13市町村(2市10町1村)における、入院治療を必要とする重症救急患者の医療を 円滑に行うことを目的に協定を結び、釧路市医師会に対し2次救急医療業務実施に係る補助金とし て各市町村が負担としているもの				
(事業の概要や具体的な内容、方法など)					
意 図	根室・釧路管内の救急医療体制の安定的な確保、二次保健福祉医療圏を超えて連携協力し、年間を通して全ての日、すべての時間帯における入院治療を要する重症救急患者の医療を円滑に行うことができる				
(どの様な成果を得ようとして いるのか)					

3 事務事業の現状									
活動指標名		計画値 (H27)			実績値	目標値	目標値		
	心製指標 で		H27	H28	H29	H30	H31	(H32)	(H37)
1	ドクターヘリ運航回数	43回	43回	47回	42回			60回	60回
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)					予算	H29決算		H30予算	
	ず木具(一下66730/6	17		2,889 2,889		2,889			
	国道支出金								
内	地方債								
訳	その他								
	一般財源		2,889	2,889		2,889			
人員	(人工)				0.08	0.08		0.08	
職員人件費 (=人員(人工)× 7,696 千円)					616	616		616	
総事業費 (=事業費+職員人件費)				3,505		3,505			3,505
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)					83		83		
単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)									

(事削評価にかかけた課題	について配入)
見直し状況	□検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない ■検討していない
見直しの内容など	道東ドクターへリ運航調整員会との連携となることから、市単独での見直しは図れない。
今後の動向・市民ニーズなど	根室・釧路管内の救急医療体制の安定的な確保、二次保健福祉医療圏を超えて連携協力し、年間 を通して全ての日、すべての時間帯における入院治療を要する重症救急患者の医療を円滑に行う ことができる
5 事務事業の評価	
And Anales H I lbm	□結びついている ■一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	根室・釧路管内の救急医療体制の安定的な確保を図るため、年間を通じて入院治療を要する重症 救助患者の医療を円滑に行い、初期治療開始を早めることにより救命率を高めることができる。
	□可能 □一部可能 ■不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	道東ドクターへリ運航調整員会との連携となることから、単独での取り組みは図れない。
	□ある □一部ある ■ない
ウ. 事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	道東ドクターへリ運航調整員会との連携となることから、市単独での見直しは図れない。
	□ある □一部ある ■ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい て可能性がありますか	
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	
6 事務事業の今後の方[向性
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了

主管課名(担当名)		消防本部(総務課総務担当)					
事務事業名		防火水槽新	防火水槽新設事業			12354	
重点プロジェクト	口該当	■非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託	

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2−1 消防救急体制の充実
心泉中水との民建	施策目標	安全・安心に暮らせる都市基盤の充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など	一般市民			
A1 95	対象者の今後の予想	同程度			
活動内容	消防水利の基準に対する整備比率が低い地域に防火水槽の設置を進め、市民が安全・安心に活できる環境整備を図るとともに、多様化する各種災害に対応できる体制づくりを推進する。				
(事業の概要や具体的な内 容、方法など)					
意 図 (どの様な成果を得ようとして いるのか)	消防水利の整備推進により、市民が安全・安心に生活できる環境整備を進めるとともに、消動を迅速・的確に行い被害の軽減を図る。				

3 事務事業の現状									
	活動指標名		計画値 (H27)		実績値 				目標値
			H27	H28	H29	H30	H31	(H32)	(H37)
1	防火水槽整備数	76基	76基	78基	78基			84基	94基
2	消防水利の設置率	79.4%	79.4%	80.2%	80.6%			83.1%	87.1%
3									
4									
	古光美 /_ てわら の	al N		H29 ⁻	予算	H29	決算	H30予算	
	事業費(=下記内訳語	π)			/				22,572
	国道支出金								5,386
内	地方債								17,100
訳	その他								
	一般財源					86			
人員	(人工)						0.01		
職員	職員人件費 (=人員(人工)× 7,696 千円)							77	
総事業費 (=事業費+職員人件費)							22,649		
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)									
単位	コスト実績値 2(=総事業費÷成果								

(事前評価にかかげた課題	について記入)					
見直し状況	□検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない ■検討していない					
見直しの内容など	更新計画に基づき整備を推進中であり、事業実施について見直しは検討していない。					
今後の動向・市民ニーズなど	特に、消防水利の整備比率が低い地域の市民に係る不安解消に向け、今後も計画的に事業推進 したい。					
5 事務事業の評価						
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない					
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	消防水利の整備が計画的に進むことにより、市民の不安解消と安心・安全に暮らせる環境整備 が、着実に図られている。					
	□可能 □一部可能 ■不可能					
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	市が消防責任を有している。					
	□ある □一部ある ■ない					
ウ 事業内容の中で、見直し ウ を行う必要はありますか	更新計画に基づき整備を推進中であり、事業内容について見直しは検討していない。					
	□ある □一部ある ■ない					
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	国の補助制度の活用により防火水槽本体の規格等に制約があることから、事業費が固定的となっ ている。					
	□ある □一部ある ■ない					
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	主に、市街地以外での整備を進めている等の事業の性格上、他事業との統合は困難と考えてい る。					
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある					
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	市が消防責任を有していることから、受益者負担を求めることは考えていない。					
6 事務事業の今後の方[向性					
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了					

主管課名(担当名)			消防本部(総務課総務担当)						
事務事業名			消防車輌墊	整備事業		事業番号	12429		
	重点プロジェクト	口該当	■非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託		

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2−1 消防・救急体制の充実
心泉中水との民建	施策目標	安全・安心に暮らせる都市基盤の充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など	一般市民				
	対象者の今後の予想	同程度				
活動内容	消防車輌の整備(更新)を進め、市民が安全・安心に生活できる環境整備を図るとともに、多様化する各種災害に対応できる体制づくりを推進する。					
(事業の概要や具体的な内 容、方法など)						
意 図 (どの様な成果を得ようとして いるのか)	消防車輌の整備推進により、市民が安全・安心に生活できる環境整備を進めるとともに、消火活動を迅速・的確に行い被害の軽減を図る。					

3	3 事務事業の現状								
活動指標名		計画値		実績値				目標値	目標値
	/D 9/) H1%************************************		H27	H28	H29	H30	H31	(H32)	(H37)
1	水槽付消防ポンプ自動車(7台)・消防ポンプ自動車(3 台)・救助工作車(1台)・化学車(1台)・屈折はしご車(1 台)	13台	13台	13台	13台			13台	13台
2	救急自動車(3台)	3台	3台	3台	3台			3台	3台
3									
4									
			H29 ⁻	予算	H29:	決算	H30 ⁻	予算	
	事業費 (=下記内訳計)								83,562
	国道支出金								12,887
内	内地方債								65,600
訳その他									
	一般財源								5,075
人員(人工)								0.01	
職員人件費 (=人員(人工)× 7,696 千円)								77	
総事業費 (=事業費+職員人件費)								83,639	
単位コスト実績値 1 (=総事業費・成果実績値)									
単位	単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)								

(事前評価にかかげた課題	について記入)				
見直し状況	□検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない ■ 検討していない				
見直しの内容など	更新計画に基づき整備(更新)を推進中であり、事業実施について見直しは検討していない。				
今後の動向・市民ニーズなど	今後も、国の整備指針に基づく更新計画により、消防車輌の適切な更新整備を計画的に推進した い。				
5 事務事業の評価					
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない				
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	消防車輌の整備(更新)が計画的に進むことにより、災害発生時における対応力が強化され、市民 の不安解消と安心・安全に暮らせる環境整備が、着実に図られている。				
	□可能 □一部可能 ■不可能				
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	市が消防責任を有している。				
	□ある □一部ある ■ない				
ウ. 事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	更新計画に基づき整備(更新)を推進中であり、事業内容について見直しは検討していない。				
	□ある □一部ある ■ない				
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	更新車輌及び装備品等の選定にあたっては、将来展望にたった費用対効果の検証等により慎重 に決定している。				
	□ある □一部ある ■ない				
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	車輌の更新という事業の性格上、他事業との統合は困難と考えている。				
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある				
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	市が消防責任を有していることから、受益者負担を求めることは考えていない。				
6 事務事業の今後の方	向性				
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了				

主管課名(担当名)			消防本部(総務課総務担当)						
	事務事業名		小型動力ポンプ購入事業			事業番号	11996		
	重点プロジェクト	□該当	■非該当	評価時期 ■中間 □事後		事務区分	■自治 □法定受託		

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2−1 消防・救急体制の充実
	施策目標	市民と行政が一体となった、消防・救急体制が確立したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など						
	対象者の今後の予想						
活動内容	消防活動に不可欠な資機材を整備(更新)を進め、防ぎょ力の向上と、市民が安全・安心に生活できる環境整備を図る。						
(事業の概要や具体的な内容、方法など)							
意 図	消防資機材の整備推進により、市民が安全・安心に生活できる環境整備を進めるとともに、複						
(どの様な成果を得ようとして いるのか)	消防負機材の発偏推進により、市民が女主・女心に生活できる環境発偏を進めるとともに、 多様化する災害に対応できる体制づくりを推進する。						

3	争務争某の現状								
活動指標名		計画値			実績値	目標値	目標値		
		(H27)	H27	H28	H29	H30	H31	(H32)	(H37)
1	小型動力ポンプ更新整備状況	66.6%	66.6%	74.9%	83.3%			100.0%	100.0%
2									
3									
4									
古世典 (一下和九知弘)			H29予算 H29決算		H30予算				
	事業費 (=下記内訳計)				2,328	2,268		2,388	
国道支出金									
内地方債				2,300	2,200		2,300		
訳 その他									
一般財源				28		68		88	
人員(人工)				0.01		0.01		0.01	
職員人件費 (=人員(人工)× 7,696 千円)				77		77		77	
総事業費 (=事業費+職員人件費)				2,405		2,345		2,465	
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)				29		28			
単位	単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)								

(事前評価にかかげた課題	こついて記入)
見直し状況	□検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない ■検討していない
見直しの内容など	複雑多様化する災害に対する防ぎょ力の充実・強化を図るため、小型動力ポンプの整備(更新)を 継続していく必要から、事業実施について見直しは検討していない。
今後の動向・市民ニーズなど	今後も、防ぎょ力の充実・強化に向け事業推進したい。
5 事務事業の評価	
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	消防資機材の整備(更新)が進むことにより、災害発生時における対応力が強化され、市民の不安 解消と安心・安全に暮らせる環境整備が、着実に図られている。
	□可能 □一部可能 ■不可能
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	市が責任を有する消防業務として、市民の生命・身体・財産を保護することを目的としている。
	□ある □一部ある ■ない
ウ. 事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	消防活動に支障をきたすことのないよう、購入から29年以上経過し劣化の著しい小型動力ポンプ の整備(更新)を推進中であり、事業内容について見直しは検討していない。
	□ある □一部ある ■ない
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	小型動力ポンプという特殊な消防資機材であることから、事業費が固定的となっている。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合につい オ. て可能性がありますか	消防資機材の整備(更新)という事業の性格上、他事業との統合は困難と考えている。
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	市が消防責任を有していることから、受益者負担を求めることは考えていない。
6 事務事業の今後の方	句性
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了

作成年月日

平成30年6月